

広報



かわにし

平成元年 3/10 No.367

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

— 3月1日現在 —

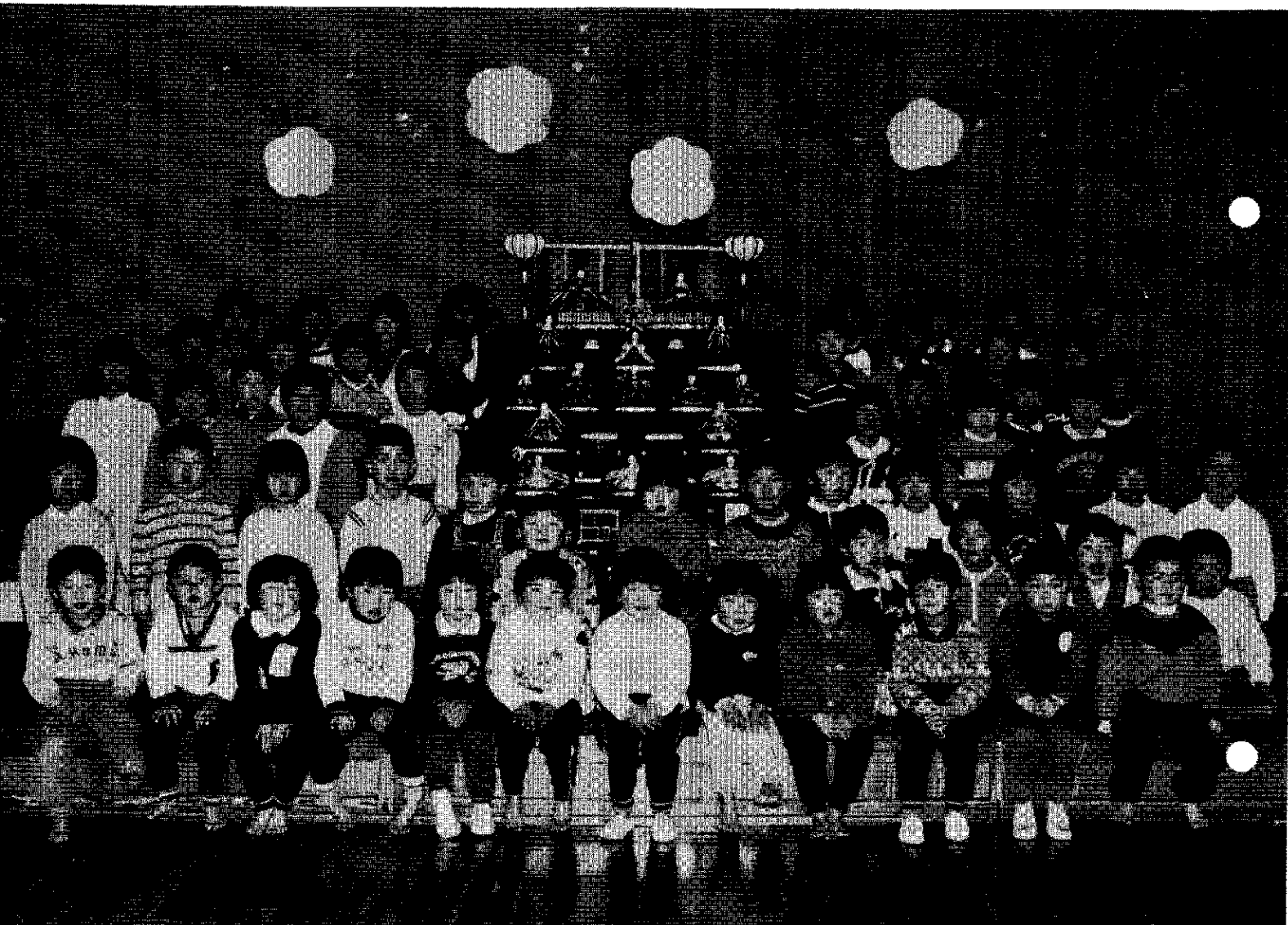
男 4,579 (-2)

女 4,641 (-6)

計 9,220 (-8)

世帯数 2,276 (-0)

(-)は前月比較



おひなさまと一緒に 春がやってきた

— 2月21日 上野保育園 —

いつの間にか日が長くなり、穏やかな日差しが園内に入ってきます。お遊戯会が終わってすぐに、ステージには「ひな人形」が飾られました。

かわいい瞳のおひなさま、男の子は刀や弓に、女の子は華やかな着物に関心を寄せたようです。

健康で優しく育つように願った、この行事が終わるころには春本番。



休日救急医

3月12日 富田医院(神明町) ☎52-3269

19日 千手診療所(中央町) ☎68-2034

21日 大島医院(川原町) ☎52-2957

26日 中条病院(中条) ☎57-3018

4月2日 第二藤巻医院(上野) ☎68-2018

9日 山口医院(下条) ☎55-2003

議会報告

消費税関連で 使用料など軒並み改正

四月一日から適用される消費税法に伴って公共施設の使用料が、一律三パーセント値上げすることになりました。その関係

条例が改正されました。十円未満の端数は四捨五入することから、たとえば、五百円は五百二十円に、三百円は三百十円に、百円はそのまま変わらないことになりました。

改められた条例は次のとおりです（正式な条例名称を分かりやすく簡略に示しました）。

学校使用料 浦佐駐車場 総合センター 高倉ぶなの家 小脇冬期集落センター 保健・活



二六公園でのブナ林まつり（昭63，5，22）

性化センター 克雪センター 節黒城跡・二六公園 松葉荘

第二回町議会定例会が三月一日から開かれています。会期は、同月二十日までの二十日間です。

始めに、専決処分した休日の特例（大喪の礼）条例が承認されました。続いて、条例の一部改正と昭和六十三年度水道事業特別会計の補正予算など三十六件、さらに「辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画策定」が審議され、原案どおり可決されました。

文化会館建設基金の設置などの新設条例は、各所管の常任委員会にそれぞれ付託されました。

三日から新年度予算の審議に入りました。町長の提案理由の説明のあと、各常任委員会の調査などを経て、二十三日には、平成元年度予算九件が成立する見込みです。

一日に議決された一部改正条例を中心に、議会前半の概要をお知らせします。

錦鯉越冬槽 システムケイ使用
工場 上野コミ・センター 橋
同 総合体育館 庚塚野球場
町営住宅 下水道 上水道 フ
ラッシュ施設 国保診療所 同
仙田へき診

4月1日から 特別職の報酬を改正

町議会議員の報酬等条例

町議員の報酬月額が、議長十八万八千円、副議長十四万七千円、常任委員長十三万六千円、議員十三万三千円にそれぞれ改められました。

三役の給与条例

給料月額二十九万一千円に改められました。

教育長の給与等条例

各種委員報酬（月額）のうち、農業委員会会長と教育委員会委員長がそれぞれ一万九千円、農委会長代理が一万六千二百円、農委、教委の各委員がそれぞれ一万五千六百円、監査委員（知識経験者）二万四千円、同（議会選出者）一万六千円に改められました。

非常勤特別職の
報酬等条例

消費税法は4月1日から適用

課税対象は

商品の販売や自動車のレンタル、理美容、印刷、運送、仲介、広告などサービスの提供など、対価を得て行う取引のほとんどが課税対象になります。

納税義務者は

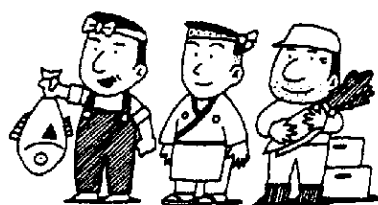
課税対象となる取引をする個人事業者や法人です。それに、国や県、市町村、公共法人、公益法人、人格のない社団などです。

免除される事業者

前々年の課税売上高が三千万円以下の事業者は、その年の納税義務が免除されます。

税率は

消費税の税率は、三パーセン



ただし、普通乗用自動車（中古車除く）は、平成四年三月三十一日までは、経過的に六パーセントの税率が適用されます。「普通乗用自動車」とは、長さが三・三〇センチを超えるもの、幅が一・四〇センチを超えるもの、気筒容量五五〇ccを超える乗用車をいいます。

2代目 ミスかわにし 誕生



明るい笑顔で、ミスかわにしの富井さん(左) 上村さん

二月十九日夜、活性化センターで、新しい「ミスかわにし」の発表がありました。
第二代のミスかわにしには、つぎのお二人が十六人の応募の中から選ばれました。

上村弘美さん(23) 上野
富井智子さん(19) 同

お二人のお話を紹介します。
(上村さん＝K、富井さん＝T)

・応募の切っ掛けは…

K 上野青年会の方々から推薦されました。

T 母の知人が推薦してくれました。

・勤め先は…

K 根津紋織(十日町)で企画の仕事をしています。

T 新潟川西農協(本所)金融課にいます。

・趣味は…

K 去年から始めたスキーです。
T 音楽を聞くことです。

・身長は…

K 156・5センチ

T 157センチ

・町の良いと思うところは…

K 自然環境のよさ

T お米がおいしいこと

・町に希望することは…

K もう少し若い人がいれば良いと思います。

T 地場産業が盛んになって、若い人がいっばいになること。

・ミスに選ばれた感想は…

K ただびっくりしています。

T 町のイメージアップにお役にたてばと思います。

T まだ嘘みたいですが。がんばりたいと思います。

「ミスかわにし」のタスキを

かけたお二人には、雪まつり前夜祭で賞品のハワイ旅行の目録が手渡されました。

東京で

高倉国際村の総会

二月二十五日、東京新宿で恒例となった高倉国際村の総会が開かれました。

町からは南裏助役、高橋弥太郎町議らが出席しました。

現在、同会員は二十六人、総会には、そのうちご家族など十七人が参加しました。

夕食を兼ねた総会では、国際村と町の地域交流や、文化交流の進め方や、地域施設のことなどが話し合われました。



かわいいお便り

2月号表紙の児童から

広報のお兄さん、この間は、私たち二十六人に写真をいただき、本当にありがとうございます。

みんなとても喜んでいました。

いただいた写真を、卒業アルバムにはり一つの思い出にしたいと思っています。

もう、和紙のほうもほとんど

終わり、印刷するばかりになりました。また、橘小においでになる機会がありましたら、お待ちいたしております。その時をみんな楽しみに待っています。本当にありがとうございます。

橘小六年生一同より

平成元年度転作目標面積配分

集 落 名	実 転 作 目 標 面 積	他 月 途 利 月 米 予 定 数 量
東 口 沢	479.8 a	5240 kg
水 口 新 井	263.9	2900
三 新 敷	306.8	3510
中 屋 敷	382.1	4220
沖 立 反	1439.3	16940
伊 友	894.5	10380
高 原 庄	268.6	2970
坪 山	408.2	4540
鶴 谷	386.1	4270
鶴 谷	147.6	1630
平 手 計	4976.8	56600
上 野 町	810.2	8890
元 新 田	540.8	5950
新 町 新 田	588.1	6340
下 平 新 田	463.8	5000
三 領 岸	253.9	2870
小 根 岸 計	200.0	2260
上 野 町 計	2856.8	31310
木 崎 崎	820.1	9380
吉 崎	139.7	1480
塩 辛	179.0	1890
仁 田	837.9	9010
野 口	1000.0	10900
原 田	338.8	3680
板 深	307.5	3340
下 京	372.0	4100
横 計	3995.0	43780
中 仙 田	407.6	4390
雲 崎	322.8	3500
小 崎	204.6	2120
高 崎	177.9	1850
藤 崎	13.0	—
越 戸	201.0	2120
越 ケ	3.4	—
赤 谷	326.8	3470
若 谷	370.8	3930
大 谷	70.0	710
大 白	321.2	3370
八 白	412.4	4330
八 田 計	2831.4	29790
川 西 町 計	14660.0	161480

※ 水田農業確立対策と米需給均衡化対策の合計数値です。

転作面積を配分

二月十六日、活性化センターで転作面積の配分会議が開かれました。昭和六十三年度の転作物物共励会の表彰や、転作実績の報告に続き、平成元年度転作目標面積などが、各集落の転作推進事務協力員に配分内示されました。

昭和六十三年度は、天候不順による転作物物の作柄不良はあったものの「集落ぐるみの取り組み」の成果で、町全体の目標面積に対して一〇三・一パーセントの実績をあげました。平成元年度の取り組み方向は、



一面の大豆畑となった転作田(昭63.8.18伊友)

① 集落での話し合いから進める
集団転作地域の拡大と、作物のローテーションを考えた連担団

- ② 農家経営を安定するため、転作可能な基盤の整備、農用地の貸借、交換などの活用。
- ③ 畑作振興を進め、収益性の向上に努める。
- ④ 重点作物は
一般作物Ⅱ大豆、青刈りトウモロコシ、ソバ(前作を伴った)特例作物Ⅱ加工用ナス、野沢菜など販売に結びつくもの。
- ⑤ 転作目標面積の配分算定は、集落から報告のあった作付可能面積を算定基礎として一律配分した。
- ⑥ 町の単独助成措置は、集団転作を円滑に推進するため、生産組織などが実施する事業に要する経費について、予算の範囲内で助成する。

締め切り3月25日

町行造林事業の

作業班員を募集

町内の山林地帯で雑木の伐採や杉苗の植林などの作業に従事する人を募集します。

◎ 募集人員 男子 48人
女子 2人

◎ 採用条件

- ① 町民で健康な人
- ② 男子はチェーンソー、刈払機の操作ができる人

- ③ 年齢は4月1日現在69歳未満
- ④ 募集人員を超えた場合は、技術・資格・年齢などを考慮して選考する
- ◎ 賃 金 原則として町の農業標準賃金(男六千円、女五千五百円)を基本日額とし、ほかに技術・運転手などの諸手当を加算して決める。
- ◎ 賞 与 勤務日数などを勘案した特別賞与を支給する。
- ◎ 期 間 平成元年5月1日から11月20日の予定。
- ◎ 就業時間 始業午前8時、終業午後5時10分
- ◎ 休 日 原則として日曜日とする。
- ◎ 申込方法 健康診断書、印鑑、それに自動車運転免許所有者は免許証を持参のうえ、産業課林政係へ。
- ◎ その他 短期特別雇用保険、労働災害適用の制度あり。

採用者には、4月20日までに本人に通知する。

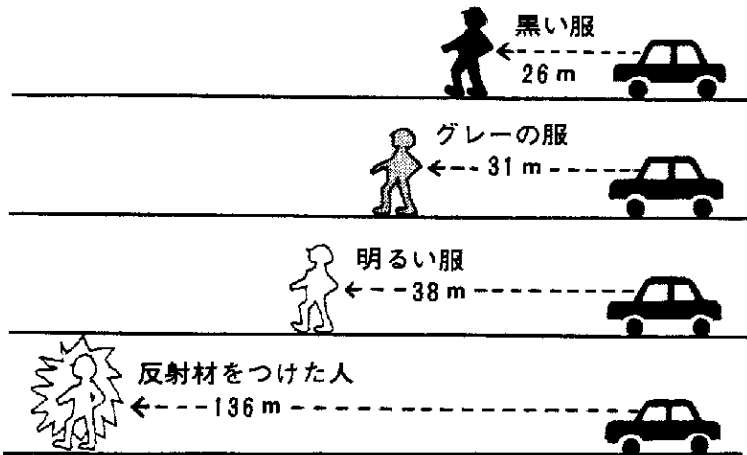


植林作業をする作業員

(63・10・24)

安全とは見えること

夜間の交通事故防止



運転者から
見える距離

昭和六十三年中の町内交通事故発生件数は一九件、傷者三人、死者一人を記録してしまいました。ここ数年、死者はなかったものの、件数は二〇件前後、傷者は二五―二八人で、相変わらず同じような状態が続いております。住民一人ひとりが、さらに交通安全の認識を深めなければなりません。

全国でも死者は増え続けています。とくに、昭和五十五年以降毎年、交通事故死者の半数以上が、夜間の事故と言われています。交通量は、昼間の約十分の一程度ですから、夜間事故の致死量は異常に高いといえます。

夜間は昼間に比べ 欠点があります

- ① 視界が極めて悪い。
- ② 飲酒運転、過労運転が多く、歩行者にも酔っている人が多い。
- ③ 交通量が少ないため、スピードを出しがちになる。

ドライバーが 気をつけること

- ① ライト点灯は早目に。
- ② 昼間よりスピードを控える。
- ③ 見通しの悪い交差点やカーブでは、ライトの点滅などで合図をする。

歩行者は 歩行者の横断に十分な注意を。

反射材の利用を

- ① 外出するときは、反射材付きの衣服を着用するなど、明るい服装を。
- ② 道路の横断には、十分な安全確認を。

見舞金は

等級	災害の程度	金額円
1	死亡	1,000,000
2	自賠責でいう1級の傷害を受けた場合	700,000
3	治療期間が6月をこえ、入院30日以上、実治療日数90日以上のもの	150,000
4	治療期間が5月をこえ、入院21日以上、実治療日数75日以上のもの	120,000
5	治療期間が4月をこえ、入院14日以上、実治療日数60日以上のもの	100,000
6	治療期間が3月をこえ、入院通院の実治療日数45日以上のもの	80,000
7	治療期間が2月をこえ、入院通院の実治療日数30日以上のもの	60,000
8	治療期間が1月をこえ、入院通院の実治療日数15日以上のもの	40,000
9	入院通院の実治療日数7日以上のもの	20,000

災害 共済 交通共 害

一日1円の掛金で
2万円～100万円の見舞金

- 交通災害共済の更新加入時期となりました。嘱託員を通じて申込書が配られています。引き続き、ご家族全員が加入するようお願いいたします。
- 去年加入した八、六八三人(加入率九二・四八%)のうち、事故にあい見舞金を受けられた方は、三二人(二百九十七万円)となっています。前回より二人(七十三万円)増えています。
- 加入申込書の記入
- ① 前年と変わらなければ、人数と金額を記入し、会費を添えてお出しください。
 - ② すでに居ない方の名前が打ち出されていたら、棒線で消してください。
 - ③ 名前が打ち出されていない方は、余白欄に書き加えてください。
 - ④ 学生などは、転出していてもこちらで加入できます。
 - ⑤ 年度中途でも加入できます。
 - ⑥ 申込書は、左右切り離さず、嘱託員にお渡しください。

租税教育懇談会入選標語

川中2 小 幡 祐 介 君

税金は社会のふくしみんなの安全

4月から 納税は口座振替で

皆さんのご理解で、納税者のおよそ九四パーセントの方々から口座振替を希望していただきました。

納付書の配布、集金、領収書の発行といった作業がなくなります。従って、今までの納税組合組織が要らなくなるわけです。ただ、町県民税、固定資産税、軽自動車税、国保税の「納入通知書」一回だけは、嘱託員からお配りいただくことになります。口座振替を希望しない方には、二期目以降の納付書は、町から本人あてお届けします。そして直接、金融機関が役場窓口で納めていただきます。

口座振替の費目

町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、国民年金保険料、水道使用料、下水道使用料、保育所保育料、幼稚園保育料の九費目です。

口座引き落としは

毎月28日です

二十八日間近になりましたらその月の納税費目や金額を確かめて預金残高に配慮してください。

とくに、「前納」を希望された方は、前納に見合う預金残高を確実に準備していただかなければなりません。月によっては、いくつかの費目が重なり、納税額が高額に及ぶこともあります。引き落としすることができず、滞納扱いとならないようにお願いします。

万一、二十八日に引き落としすることができなかつたときは、念

のため翌月五日に再引き落としをします。それでも引き落としできないときは、本人あて督促状が届きます。直接、金融機関の窓口で現金を納めていただくことになります。



暖冬で屋根の雪はゼロ
(2・23役場屋上から)

疑問な点は早目に!!

口座振替は、納付書や領収書を発行するかわりに、年二回引き落とし結果を一覧表にしてお届けする予定です。水道、下水道の使用料は、検針の都度領収書をお渡しします。

人生90年時代の退職金



人生80年といっても、これはあくまで平均値。今後ますます高齢化が進むことを考えれば、「人生90年」を想定して人生計画を、と老人問題の専門家は口をそろえています。

となると、ますます大切なのは、健康維持と並んで、きちんとした経済基盤を作っておくことでしょう。

大方のサラリーマンにとって、その基盤作りの一役を担うのが退職金ですが、この度の税制改革では、14年ぶりに退職所得控除額が引き上げられることになりました。

▶退職金にかかる税金の仕組み

退職金に対する所得税は、退職手当の金額から退職所得控除額を差し引いた額の2分の

1に課税される仕組みです。その控除額は、これまで勤続20年以下の場合は1年当たり25万円で、20年を超えると1年ごとに50万円を加算していましたが、新しい税制ではこの額がそれぞれ40万円と70万円にアップされ、結果的には、勤続30年の人の退職金は1,500万円(これまで1,000万円)まで無税となりました。

▶昭和63年1月1日以降が対象に

また、大蔵省の試算によると、高卒で大企業に35年勤めた人の平均退職金額である1,802万円にかかる税金(これまで27万6千円)が無税になります。

新しい退職金減税は、昭和64年1月1日以降の退職について適用されています。なお、個人住民税についても減税が行われます。

口座振替事務は、ほとんどが電算処理されています。それで修正事項があると登録変更手続きに、かなりの日数がかかってしまいます。もし、不審な点がありましたら、早目に役場税務課(有二三一、六六八―三二一)までご連絡ください。



給食ボランティア第2班の皆さん（2、8総合センター調理室）

二月八日総合センターで、老人給食ボランティア「山ゆりの会（南雲良代表）」に、（財）読売光と愛の事業団から福祉活動奨励賞が贈られました。

この賞は、地道に福祉活動を続けている団体に贈られるもので、今回県内では二団体が受賞

しました。

「山ゆりの会」は、昭和五十四年に発足したボランティアで、会員は八十二人、毎週水曜日の夕食を調理し、一人暮らしの老人三十人あまりに配達しているグループです。

賞の伝達に来町の読売新聞岩

給食ボランティア 山ゆりの会に 福祉活動奨励賞

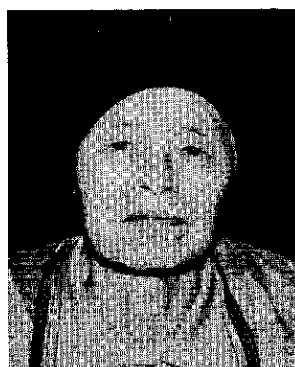
本新潟支局長は、「今回の受賞によって、けっして肩に力を入れず、世の中の潤滑油的な活動をずっと続けて欲しい」とあいさつされました。

献立を考える人、調理をする人、車で運ぶ人、それを喜んで食べてくれる人、それぞれに大きな拍手を贈りたいものです。

助かっています

お弁当に感謝のことば

待ち遠しい水曜日

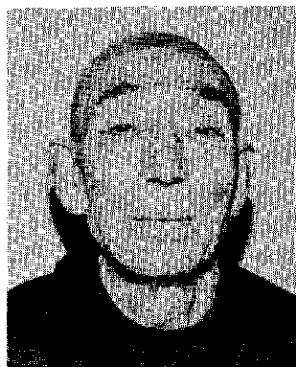


高橋ノブさん75（下野）

お弁当は大変おかげの種類の多く、おいしくできていると思います。足が悪くて買物にも行けないので助かっています。毎週、水曜日の配達を楽しみに待っています。

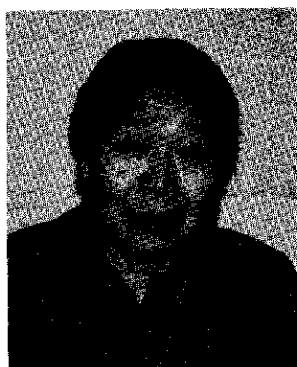
配達係の心くばり

自分で作れないおかずが入っていて、いつも感謝しています。味もよいし、ごはんの量もちょうどよく喜んでいます。配達の方との話が楽しみです、体のことまで心配してくれます。



高橋孝平さん81（学校町）

残さずいただいています



高橋 建さん73（伊友）

ボランティアの方々は、なかなか容易でないと思います。年寄りむきの、塩分控え目の料理です。量が多いと思うときでも、もったいないという気持ちで全部いただきます。

歴史はる
語 24

柏崎日記

その三

岩瀬 金子 幸 作

天保の大豪雨

梅雨(つゆ)に入った川西の村々は、天保十三年(一八四二)の、昔の暦で五月十四日から十八日まで記録的な豪雨に見舞われている。土砂くずれがあり、冠水田が見られ、大小の河川がはらんして大きな被害が出た。この大雨は、信濃川の上流でも豪儀だったらしい。沿岸の村々は徹夜で川除けに努めたが、そのかいもなく、沖立島では耕地の大半を流失した。幕府領の沖立は、どこの家も暮らしの豊かな村であったが、天保の洪水で耕地を失うと貧富の差がきよくたんに増大した。夫食(ぶじき)米にこと欠いた困窮者の中には、乞食(こじき)になつて村々を回る者もあつたという。この出水のあと、信濃川ではナマズがたくさん獲れるようになったそうである。

水とぼしくて畑多し

渡辺平太夫が、収獲前の山谷組村々へ足を運んだのは理由がある。五月の豪雨で川欠けが

生じた新田の見分に合わせて、領内の作柄を知ることが目的であつた。九月五日(現在の十月九日)に山谷村へ泊まつた平太夫は、翌日の行動を次のように記している。

六日、天気二成ル。田欠の村ハ小泉村ト木落村也。小泉ハ山谷の隣村也。五ツ(午前八時)過二見分ニ出ル。千曲川岸ノ新田拾五石余之内、田欠ニ成ル。残地改メ、引返し東の方へ行、木落村へ向ひ、乗り掛け馬ニて行。所々小坂有り。水ニ乏しき所ニて畑多し。大根、大豆、小豆、いも、烟草(たばこ)沢山也。稲作ハ刈羽の半分位の株也。下免の筈也。馬上ニて千曲川の流れ所々見渡ス。能き景色也。

観音様に幟(のぼり)を寄進

又千手ヲ通り、伊勢平治村へか、り、村はづれニ千手観音の堂有り。余程大造な構ひ也。三拾石斗り御寄附有之。当国は縮のかすり所ニて、千手観音大菩薩と申す字をかすりに織り候。幟式本寄進致し置候。此堂ニて休息。寺より茶ヲ出し申候。夫



千手観音境内 (2, 14)

より坂ヲ下り半道程行、木落村也。山谷村より壱里半之余也。

木落の損地場(えんちば)

田欠けのあつた川端まで、木落の村から八〇〇メートルほどの距離があつた。このあたりは千曲川の川幅も大きく広がっている。御損地場は、二〇石(米五〇俵Ⅱ三ト)の新田の内、三反歩(三〇アール)余りの田が欠け込んでおり、何とも哀れで気の毒に思えてならなかった。見分を終えて村へ帰ると、庄屋の小幡弥之右工門方で昼支度をしており、ちそうになった。庄屋宅では、泊まりの宿ができたことになった。帰ろうとして外に出たら、あいにく雨が落ちて

参つたので、唐傘(からかさ)をさして馬に乗って帰つた。酒井の分家へ着いたのは七ツ(午後四時)過ぎであつた。

夕食には、そば切りのちそうにコイのヒラ、ウナギのかば焼きが仰山に出た。ここ十年来、当国ではウナギが少しづつ獲れるようになったそうだ。二〇から三〇センチかけまわりのウナギがよく獲れるとか、なかなか味いいも良く、珍しい名物料理で満腹した。

縮のかスリを繰る

七日、朝之内ニ霧下り、次第二天気ニ成ル。早朝支度。忠之助宅ヲ見ニ行。庭ヲ見物致シ座敷へ上ル。門ハ長屋ニて門内も甚広く、先ズ魚沼老の屋敷構ひト見へ候。夫より駕籠ニのり、元の道より戻ル。千手村はずれより、三國海道の追分ケ有り。壱里程行、上野村御領分中の大村。是も市杯立、町がかつた村也。星名藤左工門と申ス豪家有り。御内用達、屋敷構ひ忠之助ニ続キ候もの也。壱里程行、中屋敷村(筆者注Ⅱ木落村の誤りか)ニて御領分はづれ候。又半道程行、真人と申宿也。極在郷、会津御領所之内也。茲ニて弁当遣ひ、人足継ぎ、是より峠式つ打越ひ、所々難所有り。

千曲川見へ、景ノ能所も有り、峠下ると小千谷の広地也。此辺一円ハ会津御領所之由。七ツ、(午後四時)前二小千谷宿へ着ク。家数ハ千軒も有之由。能町也。御陣屋有之。名物縮見セ沢山。当年ハ縮値段大下りニて、難渋之由也。魚沼中、町在とも悉ク縮のはたを織て居り候。魚沼ハ皆かすり斗也。松の山郷ハ嶋斗の由。旅宿故、皆一同二居ル。当所もさけの魚名物ニて出ス。

小千谷から柏崎へ

九月八日は上天気で、平太夫は小千谷宿を早朝に出立した。全行程、塚山峠有り、式里計り下り登り也。所々道わるく駕籠を引づる様也。塚山迄三里、人足継、広田村より刈羽御領分也。三里行、北条村問屋ニて弁当遣ひ、是より人足無賃也。北条村はづれに大橋有り。少し行岡田村へ行道へ出ル。又雨はらはら落て来ル。柏崎へ入ル。鶴川橋のたもとに、家族が迎えに出ていてくれた。小千谷で買ったミヤゲ(栗一升と中ぬき草履二足)を遣わすと、みんなが喜んだ。衣服を着替えたなら四ツ(午後十時)を過ぎていた。※「柏崎日記」は、上野の上村政基さんから、原本のコピーをいただいてまとめています。

同業の会合で大阪の会社の重役さんが、息子が新潟県の教員に採用されたと話してくれた。赴任先を伺うと「川西町」だと言いい、この春、どんな所か夫婦で大阪から車に乗ってその町を訪れ確認してきた。信濃川にせまる雪消えの山の緑は鮮やかで、

川西町と私

練馬区 市川昭二 さん

(元赤谷小学校勤務)



ら知っています。教育委員長さんは古くからの友人ですしね」虚実を交えて言った。相手もびつくりし、しばらくは、川西談義に華を咲かせた。

私は、終戦直後の一時期、仙田村の小学校にお世話になった。中魚沼郡の西北端に位置するこの村は、山深く、洩海川沿いに集落が点在する美しい小さな村だった。人情はこまやかで、いつまでも居たい所だったが一年余で辞し上京した。村と疎遠になったころ、町村合併で仙田村は川西町に生まれ変わったと聞いた。その時私は、村がさらわれたと感じた。思い出の村が頭の中からポツカリ消え去り、仙田村をさらった「川西町」がうとましかった。

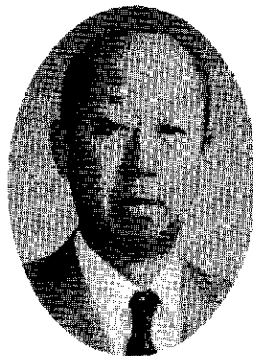
接する人は親切、町営の松葉荘に泊めてもらい、山菜を土産に帰阪した。本当に思い出に残るいい町だった。と述懐された。東京で大阪の方からわが川西町の自慢話を聞かされようとは思ひもしなかったのうれしかった。酔いも手伝って「川西町は私の故郷。たいいていのことな

それから二十何年経つだろうか。数年前「川西町史」発刊の知らせを受け求めた。装丁、内容の素晴らしさもさることながら「編さん室長・金子幸作」とあるのを見て、真面目で研究熱心な青年教師だった氏の四十年前の姿を思い浮かべ回想にふけた。町役場には、私の教え子が勤めていることも知って、消え去っていた仙田村が、にわか

っぱり洗い流された。ほどなく「広報かわにし」を毎月ご惠送頂くようになった。何十年の空間を埋めるごとく毎号むさぼり読むうちに、今では川西町の一喜一憂がわかるようになった。金子さんの肩書は教育委員長になっておられた。私は一方的に友人になりすましていた。

昨年春、私も夫婦はクラス会に招かれ、大阪の西邑さんご夫婦も泊まった松葉荘で四十何年ぶりに教え子との再会を果たした。すっかり忘れていた事どもを彼らは昨日の事のようにシツカリ覚えていてくれた。全く音信のなかった一人が、子供が持参してきた十日町高校六十周年史に寄せた私の「文章」を見つけ「お母ちゃんの先生だよ」と言いつて聞かせたと話してくれた。人と人とのネットワークの大切さに今更ながら深い感銘を覚えた。

私は、赤谷出身の父と、岩瀬出身の母との間に、東京赤坂区(今の港区)で生まれました。父が早世したこともあって、幼いころ、よく、母方の岩瀬へ連れられて行きました。赤谷の大きなケヤキや洩海川に架かる岩瀬橋、そのそばにあった木造校舎などを覚えています。当時「坊や、坊や」と、かわいがってくださった方々のほとんが亡くなられ、寂しい限りです。



母と仙田村

荒川区 登坂泰 夫 さん

き「頭金ぐらいあるよ」といとも簡単に言う母にびっくりしました。小学校高学年のころから、母の節約ぶりをよく観察していましたし、母の生活習慣を身につけて育ちました。その母のおかげで資金面でおおいに助けられ、越後の女のしたたかさを学んだわけです。

以来、事業は紆余(うよ)曲折はありましたが、ある程度までになり、二代目社長候補にゆずる基盤もできました。そんな中で、母の生まれ故郷仙田村に、愛着と関心の念をつのらせています。

関東平野と越後平野に挟まれた豪雪地帯の山間部に、どんな事情で住みついたのだろうか。そんな思いもふくらんで「川西町史」全巻を購入。折々、ひもといっています。そして、毎月の「広報かわにし」を見るたびに母を思い出し、創業当時の苦勞を思い起こしています。

旧仙田村を含む川西町在住の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

善意

● 図書への寄贈

(敬称略)

● 一般寄付

上村健一 (下平新田)

十万円

● 広報発行に

田中重正 (豊島区)

三万円

● 体育振興に

山口義正 (仁田)

三万円

ねんきん

ふくし

4月から

国民年金保険料が 8千円に変わります

国民年金の定額保険料は、四月分から八千円になります(付加保険料は四百円でそのままです)。

国民年金は、老齢や障害などで働けなくなったとき、夫や母が亡くなって働き手を失ったなどのときに、年金で生活を支えようとするものです。

この年金の支払いに必要な費用は、皆さんが納めている保険料や国の負担でまかなわれています。年金制度を健全に運営するには、給付と負担の均衡を保つことが必要です。年金額の引

新しい嘱託員

③

(敬称略)

中仙田 木村昭一、室島 木村幸治、小脇 齋木幸威、高倉 高橋幸一、田戸 樋口虎一、赤谷 登坂久、岩瀬 小川武文、大倉 中条与之助、大白倉 中村年広、小白倉 片桐一

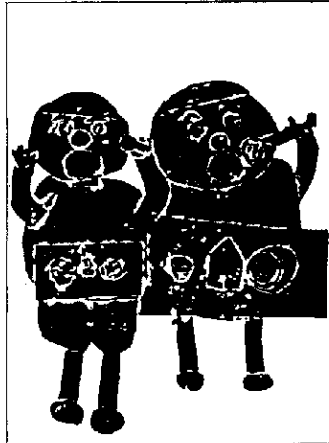
ちいさな展覧会

8

上野小学校



3年 星名冴子さん(版画)



1年 おぐまなおき君(版画)



1年 ふるさわりょう君



3年 水落太恵さん



4年 田村裕美子さん(版画)



4年 川崎里美さん

”ころぶ子は育つ” 危険防止の学習です

サクラ子ちゃんとお母さんは、同い年。隣同士で育ちました。ただ、ふたりのお母さんの子育ては、何から何まで反対です。

キクオくんのお母さんは、赤ちゃんのときから、大事に大事に育ててきました。よちよち歩きを始めたころも、ころんではいけないと、ほとんどつきつきりでした。

これでは、けがなどするはずはありません。キクオくんは、一度もころばないで歩けるようになりました。キクオくんのお

母さんは、それが得意でした。というのも、サクラ子ちゃんのお母さんがのんきで、赤ちゃんはころんではかりいたからです。サクラ子ちゃんはおでこをぶつけて、大きなこぶをこしらえたこともあります。サクラ子ちゃんのお母さんが別に驚いた様子もないのを見て、キクオくんのお母さんの方が、きもをつぶしました。

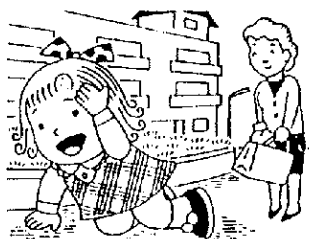
ところが最近、キクオくんのお母さんは、自信を失いかけています。サクラ子ちゃんは、けがらしいけがをしないのに、キクオくんは、ちよつとしたことですぐけがをするのです。わけを考えても、どうしても分かりません。



中央町に建てられたXマスツリーの前で(昭63, 12, 24)

キクオくんのお母さんに代わって考えると、小さいときに、ころばせなかったのがいけないのです。赤ちゃんは、ころぶことでどうしたらバランスがとれるか、どうしたらうまい？ころびかたができるのかを、体で覚えます。いわば、危険防止の学習です。キクオくんのお母さんは、過保護のあまり、その勉強の機会をなくしてしまいました。赤ちゃんがころぶことを、親はおそれてはいけません。赤ちゃんは、なぜ丸々と太っているかご存じでしょうか？ころんでも骨などをいためないように、肉のクッションがついているのです。

考えてみてください。このころの子供は、めつたに大けがをしません。この時期にころばせておかないと、肉が落ちてからのけが多くなります。泣く子は育つ、といいますが、ころぶ子も育ちます。



2万キロ離れた
ペルーからの花嫁さん



♪ハッピー
がっぷる

(29)

小根岸
♡長谷川雅 宏さん
♡テレサさん
(ペルー共和国から)

地域リーダーの仲間として

♡ 昭和六十一年七月からペルーへ青年海外協力隊員として二年半ほど行ってきました。任務は畜産の指導をしていました。そのとき、同じ普及所に行った、しつかり者の農村成人講座指導員が彼女です。

♡ 最初は静かな落ち着いた日本人という印象を持ちました。

彼は一年半でペルー語をマスターしました。ことばが通じることで、気持ちや考え方を話し合い、とても親近感を覚えしました。

どこにいても心はひとつ

♡ ペルーは地球の裏側になります。気候は一月から三月までが雨季で、あとは乾季です。気温は穏やかで、一番寒い八月でも一〇度ほどです。日本と気候や風土は違いますが、地球に住む人の心はどこでもまったく同じだと思います。

♡ 川西は静かなよいところで、お母さんは実の母のようにやさしくしてくれます。言葉はまだうまくないけれど、特別の違和感はありません。「ひとつのものを得るために、ひとつのものを置いてこなければならぬ」と心に誓ってお嫁にきました。

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

田中 英一 64 (本人) 発電所通リ東
須藤 正治 73 (本人) 仁田
福原 啓治 79 (健治) 原田
上村 サキ 81 (健二) 下平新田



かわし 俳壇

太田白南風選

高倉 斎木 和人
起き臥しも時報に合わせ老の春
雪の裾田毎につづれ水温む
雪解けの隘道口の飛瀑かな

岩瀬 小川 益栄
風花や路地裏せまき繩のれん
青磁なる鉢の万両つややかな
古書探す街ひろびろと風花す

三領 水品 律
夫の忌の夫の好みし桜餅
重ね着を脱ぎて日和の街歩く
美容院出でてうなじの余寒かな

足立区 山形 頼太
藪入りや赤門の寺賑える
室咲きの花を飾りてナース室
路地裏の小さき祠も一の午

浦和市 登坂 博史
梅一輪添えて嫁ぎし娘に便り
散歩道ふと振り返り梅香る

星名 キン 84 (梅吉) 伊友
小柳 アヤ 87 (博) 元町
柄澤 紋治 94 (健二) 沖立
五十川 キン 95 (静雄) 沖立

うぶ声—おすこやかに

金子 尚矢 孝 二男 上野
佳子 二男 上野

富井 俊 正子 二男 上野

霜条 星名 星光

機町の不景気とんであたたかし
鐘樓の囀りの中の植木鉢

野口 野沢 寅生

冬帽の黒を好みの人逝けり
着ぶくれを笑う妻も着ぶくれ

在川崎市 佐藤 信一

洗い干す油匂いの軍手凍て
如月となりし箱買い蜜柑減り

伊勢原市 金子 桂吉

節分の鬼払いたる月夜かな
大試験受かりし孫の電話くる

赤谷 登坂 酔月

村内に嫁来る噂春めける
風花に傘かたむけて晴着の娘

大倉 中条 石平

豪雪に堪えて四五戸の村に住み
雨だれの音して氷柱落ちる音

霜条 大海 白濤

雨だれの音にも春の近きかな
豆を撒く子の面とれば愛らしき

上町 高橋 願似

富士に咲く梅りんとして花少な
小白倉 江口みゆき

農協に雪割草の小鉢あり

清水 達記 明 長男 上野

柄澤 貴幸 克幸 長男 高原田

高橋 慧悟 俊一 長男 上町

たかさご—ご円満に

(中條 秀一 岩瀬 和田 イミ 十日町市から

八王子市 田中 ひさ

金婚を子ら祝いくれ春うらら

野口 村越 幸

布団干す影いきいきとはすみおり

仁田 小幡しん女

小雪の河岸段丘滝白し

中屋敷 数藤 壮一

雪おろすこともなくなり春隣

中仙田 蒼 仙子

着ぶくれて年始の客の長居かな

八王子市 松浦 サク

落のとうほろにがき味親しみて

投句要領

—締め切り 毎月末日厳守—

- ▶はがき1枚に5句前後。▶題は特に定めません(当季雑詠)。
- ▶住所、雅号と氏名明記。▶役場内『文書広報係』か、中央町「太田白南風」あて。▶初心者

の投句歓迎。

食生活改善推進委員を

紹介します

田中 ミヲエさん (仁田)

昭和三十九年から食生活改善推進委員として活躍され、会長を勤めている田中さんに会の活動などを紹介いただきました。

会員は三十五人、地区の推薦により選ばれたご婦人、女性だけで活動をしています。

おもな活動は、春と秋に推進委員が集まって調理実習をし、その実習内容を各部落の方々に伝達する講習会を継続して



忙しい過ぎるのかどうか、体を動かさない方がいっぱいだと思います。総合体育館まで出かけるのはおっくうだから、近くの公民館で簡単な体操でも教えていただきますというような声を聞きます。どなたからか指導してほしいと思っています。

この会では、会員を増やしたいと思っています。最初は全然知らなかった方と、仲間になれますし、バランスの良い食事作りと食生活の大切さを知ることができると思っています。